

2024年6月27日所長会見 所感

- 先日の会見において、発電所の目指す姿が一定の水準に到達したことや、これまでの発電所の取組を地域の皆さまにご説明していく事をお伝えいたしました。
本日は、今後の地域への説明も含め、地域との関わりについてお伝えしたいと思います。
- お手元には、地域活動への参加についての資料をお配りしておりますので、ご覧ください。
- 地域活動への参加については、コロナ禍以降、あらためて力を入れて取り組んできたものです。
- 地域活動への参加を通して、何より重要なのは、日頃から地域対応を行っている所員だけでなく、プラントの運転や保全などを行っている技術系の所員が、地域の皆さまと直接触れ合い、想いや声を知るという点です。
- 地域の皆さまと一緒に汗を流したり、直接お話をし、感謝の声をいただいたりすることで、所員からも、「地域の皆さまのために、さらに安全な発電所をつくっていかねばならない」といった声が出るようになりました。
- 実際、何かトラブルが発生した際にも、「これは地域の皆さまにも伝えた方がいい」「地域の皆さまの安心のために、一度立ち止まって、しっかりと安全を確認した上で進めた方がいい」という発言が、技術系の職員から出るようになったのは、私の目から見ても、大きな変化だと感じております。

- 今年度は 6 月までに、のべ 169 名の社員が参加しましたが、2022 年度以降では、合計 234 件の地域活動に、発電所の全所員が一度は参加し、延べ約 2300 名の所員が参加しました。
- 至近では、今年も、「えんま市」の翌日の清掃活動に、原子力・立地本部長の福田をはじめ、社員 30 名とともに私も参加いたしました。
- 来月以降も、「ぎおん柏崎まつり海の大花火大会」や「刈羽村ふるさとまつり」翌日の清掃活動に、私も社員とともに参加させていただく予定です。
- 引き続き発電所の志にある、地域を愛し、地域に愛される発電所を目指し、地域活動へ積極的に参加してまいります。
- 次に、地域へのご説明という点については、発電所の目指す姿を含め、これまでの発電所における安全性向上の取組状況を、柏崎・刈羽地域をはじめ県民の皆さまに丁寧にご説明していく必要があります。
- 来月以降、柏崎商工会議所の会員企業への訪問や、コミュニケーションブースなどを通して、対面でご説明するとともに、地域の皆さまのご疑問に丁寧に答え、ご意見を拝聴する場を設けたいと考えております。
- まずは、7 月 20 日と 21 日にサービスホールで開催する夏のイベントや、7 月 27 日の「きなせ農涼まつり」において、コミュニケーションブースを設置し、来場される地域の皆さまに直接ご説明する場を設ける予定です。

- 柏崎・刈羽地域のその他の場所においても、コミュニケーションブースを設置したいと考えており、現在検討を進めているところです。私自身も都合を合わせて直接地域の皆さまへ説明したいと考えております。

- 県域への説明については、新潟本部が中心となり、4月以降、UPZ圏内の自治体を中心にコミュニケーションブースを展開してきました。
今後、新潟市、長岡市、上越市などでも実施する予定であり、具体的な日時や場所が決まり次第、皆さまへお知らせさせていただきます。

- また、広く新潟県内の皆さまにお伝えできるように、ニュースアトムや東京電力通信をはじめ、さまざまな媒体を通じて発電所の安全性が向上していることをご紹介するなど、多面的にお伝えしてまいります。

- このような取組を通して、地域の皆さまからご信頼いただけるよう、丁寧に説明してまいりたいと考えております。

- 本日、私からは以上です。